

正誤表

このたびは、弊社刊『人工知能プログラミングのための数学がわかる本』の記述に誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

最終更新日：2022年9月5日

| ページ | 誤 | 正 |
|------|--|---|
| p.22 | 図 1.6.2 対数関数のグラフ $x < 0$ の範囲は定義されません。 | 図 1.6.2 対数関数のグラフ $x \leq 0$ の範囲は定義されません。 |
| p.54 | このとき、点 $(b, f(b))$ を点 $(a, f(a))$ に一致させた場合、 $a - b = 0$ となり、 | このとき、点 $(b, f(b))$ を点 $(a, f(a))$ に一致させた場合、 $b - a = 0$ となり、 |
| p.55 | この直線を接線といいます。このときの a を $x =$ <small>アルファ</small> α における微分係数 | この直線を接線といいます。このときの a を $x =$ <small>エー</small> a における微分係数 |
| p.65 | (解答・解説の最下段の表) $\frac{d^2g(x)}{dx^2}$ | (解答・解説の最下段の表) $g(x)$ |

| | | |
|-------|---|--|
| p.150 | 重みを l 次元の列ベクトル W とすると | 重みを $l+1$ 次元の列ベクトル W とすると |
| p.198 | ノードへの入力値... x , 重み... w , バイアス... b , 活性化関数... σ , ノードの出力値... a | ノードへの入力値... x , 重み... w , バイアス... b , ノードの出力値... a |

なお、お客様より、本書で扱う Python コードの参照先について、ご質問をいただくことがございました。
Python コードの参照先 URL は本書の p144 など、実践編の各 CHAPTER の冒頭下部に掲載しておりますが、
こちらにも掲載させていただきます。
本書で扱う Python コード <https://github.com/TeamAidemy/AIMathBook>